



ろうさい病院 つうしん

発行所: 中部ろうさい病院

〒455-8530 名古屋市港区港明1-10-6
<http://www.chubuh.rofuku.go.jp/>

TEL: 052-652-5511
FAX: 052-653-3533

新年あけまして おめでとうございます

院長 堀田 饒



中部ろうさい病院の全面改築という一大事業を終え、約10ヶ月が経ちました。反響は多彩ですが、内外から概ね好評をいただき、組織の長として安堵でほっとしている所です。

医療制度の改革実施の度に、医療従事者にとっては厳しいことばかりです。そのせいとは言えませんが、来院されて心が癒される筈が医療従事者の言葉足らずをはじめとした対応の拙さで、不愉快な思いをされた方が少なくないかと思えます。当院とて例外ではなく、危惧する日々です。

はじめに医療費削減ありの医療制度改革は、弱者である患者さんのことを余り考えていないと捉えられても致し方がないのが昨今の実情かと思えます。“われわれの国では医者^{しな}が薬屋のために処方を書く。日本の医者は自分の家から薬を届ける”とはキリスト教の布教活動の為に、1563年に来日したポルトガルの宣教師ルイス・フロイスが認めた印象です。約450年前のヨーロッパ事情が時を経た今、日本では院外処方という形でヨーロッパ並みとなり、高齢社会を迎えた患者さんにとって期待される良質な医療の提供とは大凡そ程遠いと言え、甚だ複雑な気持ちです。

当院の基本理念の一つに、“患者さん中心の医療”が掲げられています。職員一同これ迄以上に、患者さんにとっても、病診連携の先生方にも満足^{みぞく}の行く^{ゆく}対応を心懸けて行きたいと思っています。本年も、ご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

新年明けまして おめでとうございます

副院長 小林 建仁



先生方には日頃より地域医療連携室を通じて、多大なご支援をいただき深く感謝しております。当院の紹介患者数は770名/月と前年より約7%の増となっています。紹介いただいた患者さんを紹介元にお返しするUターンは毎月200名前後とほぼ一定の数で推移しています。今年はUターンをより充実させること、当院初診の患者さんをできるだけ地域の診療所に紹介すること、この二つを目標に努力してまいります。

また、地域連携パスを大腿骨頸部骨折だけでなく、脳卒中さらには癌にも拡げていきたいと考えております。

本年もどうぞよろしくご指導いただけますようお願い申し上げます。

新年明けまして おめでとうございます

副院長 佐野 隆久



新年明けましておめでとうございます。旧年中には先生方には患者診療、地域医療、病診連携など多方面にわたり、ご協力いただきまして誠にありがとうございました。

昨年3月末の新病院完成まで亥年、子年と数年に亘り当院も全速力にて建築に邁進してまいりましたが、丑年の本年はじっくり地に足をつけて、昨今の不安定な医療情勢、雇用不安、金融不安に対応した診療活動を行って行こうと考えております。皆様の一層のご支援よろしくお願いいたします。

本年の皆様のみますますのご活躍、ご健康を祈念いたします。

腎臓内科の紹介

腎臓内科 前田佳哉輔
腎臓内科 名倉 史子



近隣の諸先生方には、日ごろから病診連携を通して大変お世話になっております。ろうさい通信の場をかりまして御礼申し上げます。今年もよろしくお願ひ申し上げます。

私達は平成19年度から当院の腎臓内科に所属しており、腎不全はもとより、膠原病、腎炎、水・電解質異常、感染症と幅広く診療させて頂いております。当科の部長が教育熱心ということもあり、ボストンで開催されたHarvard Medical School 主催の3日間の腎臓病学講座(Nephrology Up to Date)を受講する機会に恵まれましたのでご報告させていただきます。

この講座は、米国の生涯教育制度(CME: Continuous Medical Education)の一環で、医師免許・専門医更新のための単位取得プログラムです。有名大学教授を何人も招いて、最新のトピックを含めた教育講演を行ったり、症例についてディスカッションしたりします。講義は、朝7時から夜の8時まで、多岐の項目について、最新のトピックを交えながら行われました。内容については、日本の医療のレベルの高さを再認識でき、透析療法や日本に多いIgA腎症の治療などに関しては、むしろ日本の方が先端をいっている印象でした。

当院の腎臓内科でも、透析療法を含め、保存期腎不全の管理にも力をいれております。最近、

早期発見・早期治療介入を目的に、慢性腎臓病(CKD: Chronic Kidney Disease)という概念が提唱されています。CKDのステージ評価には、日本人のデータから推定されたeGFRが使用されます。当院でもCr値をオーダーすると自動的にオーダーリング画面で、eGFRが計算される仕組みになっています。最近が開業医の先生方がオーダーされる外注の検査にもeGFRが記載されるようになったそうです。日本腎臓学会が出版した「CKD診療ガイド」にはeGFRの早見表はもちろんのこと、ステージ毎の治療介入の仕方や腎臓専門医への紹介時期など、幅広く記載されています。日本腎臓学会のホームページからも閲覧できますので、ご活用頂けたら幸いです。また、当院には、腎不全を専門にしている薬剤師もあり、腎不全の教育入院時には積極的に薬剤指導を行っています。CKDの早期のステージの方でしたら、外来管理は地域の先生方が中心に行って頂き、当院で食事指導、薬剤指導を含めた指導を定期的に行っていく形がとれたらと考えています。

今後とも、地域の医療施設の皆様と連携させていただき、地域医療に貢献していきたいと考えております。諸先生方のご指導・ご鞭撻を賜りますよう、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

科別医師診療予定表

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
腎臓内科	○志水英明	富野竜人	前田佳哉輔 (午後) 藤田芳郎	○志水英明 名倉史子 (1・3週)	富野竜人

◎部長 ○部長代理

中部ろうさい病院

インプラント治療と脛骨移植

歯科口腔外科副部長 西川 雅也



私が中部ろうさい病院に赴任して早くも4年目となりました。

前回、平成18年4月のろうさい病院つうしんで、インプラント治療における新しい試みとして、脛骨移植についてご紹介させていただきました。この治療法を始めて約2年半たちました。新しい治療法として始めたこの方法も30例近い症例を行うことができました。手術を行ったうえでの感想と今後の展望について記したいと思います。

まず基本的には手術侵襲が従来からの腸骨移植より非常に少ないということがあげられます。腸骨移植では、術後1週間は歩行制限があり、手術後1ヶ月程度は歩行時の痛みを伴う場合があります。

脛骨を採取した症例では、歩行は術翌日から可能で（実際には転倒防止のために車椅子を押して歩いてもらっています）、患者さんからはそのまま歩いても大丈夫という声を聞きます。歩行時の痛みについても少なく腸骨移植よりも経過良好です。

また、採骨量が非常に多いという点も特記す

べき点です。脛骨よりの採骨では20cc程度の骨は確実に採骨できます。腸骨からの採骨ではこれだけの量の骨を採取することは不可能と考えられます。採骨できる骨量が多ければ、手術の自由度も上がり良好な結果が得られると考えます。

このように脛骨移植は利点の多い方法ですが、患者さんによっては骨髄が脂肪髄化している場合もあり、長期的な予後にどのような影響を与えるかは、今後の検討課題と考えます。これに関しては、脛骨の状態を画像診断や組織学的診断を組み合わせることで評価し、術後の予後を検討して行く予定です。

当科ではこのような新しい治療法を取り入れ、低侵襲でのインプラント治療を行いたいと考えております。インプラント治療でお困りの際はぜひ当科にご相談ください。手術見学の受け入れや症例検討会も行っておりますので、ご利用いただくと幸いです。

また、インプラント治療だけでなく口腔外科一般症例についても、ぜひ当科にご相談いただくと幸いです。

科別医師診療予定表

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
歯科口腔外科 (要電話予約)	◎鈴木英治 △西川雅也 藤田和行	◎鈴木英治 △西川雅也 藤田和行	◎鈴木英治 △西川雅也 藤田和行	◎鈴木英治 △西川雅也 藤田和行	◎鈴木英治 △西川雅也 藤田和行
口腔インプラント科	◎鈴木英治	◎鈴木英治	◎鈴木英治	◎鈴木英治	◎鈴木英治

予約電話番号(直通)052-652-9731

◎部長 △副部長

中部ろうさい病院

連携室だより

病病・病診連携サービス実態調査の結果報告

平成20年10月、近隣の医療機関を対象に「病病・病診連携サービス実態調査」を実施いたしました。調査の結果は今後の病院運営に役立てていきたいと考えております。ご多忙の中協力して下さった先生方にこの場を借りて厚くお礼申し上げます。実態調査においてお寄せいただいたご意見等を紹介いたします。

当院に対する質問

Q1 口腔外科に紹介した際、患者から紹介状がないと診察してもらえなかったと、紹介状を取りに来りにくることがある。実際のところ、紹介状がないと診察は不可能なのか。

答 口腔外科は、予約制をとらせていただいておりますので、紹介状の有無にかかわらず予約のない患者さまはお断りすることがあります。また、予約をお取りする際に、それまでの診療内容等を把握するため紹介状をお持ちいただくようお願いすることがございます。ご理解の程お願いいたします。

Q2 時間内では、当該科に電話して適当に医師にお願いしている。時間外は救急の医師にお願いしている。これでよいかどうか。当方としては、どの先生に電話をつなげばよいかまでわかっているとありがたい。

答 科別の診療予定表を定期的に配布しておりますので、時間内受診の際はご活用下さい。また、地域医療連携室でもご案内しておりますので、どうぞご連絡ください。時間外受診の際は、当番医が対応させていただきます。

その他ご意見

・よろず相談室があるので、システム云々の説明を聞いたり考えたりせず、すぐ相談担当部署へコンタクトをとってもらえるのは大変有難い。

・時々EDに関する特殊外来のお世話になるが、予約もできて診療・返事が適切で満足しています。

・救急外来へ紹介患者をお願いした時、電話での若い医師の対応が非常に悪かった。

ご要望

※入院した患者さんから、いろいろな先生に診察して頂いたが、最後にならないとどの先生が主治医かわからないといった意見をよく聞く。

☆診療科によっては、特定の医師ではなく複数の医師で治療にあたるため、主治医がわかりにくいことがあったかと思います。今後は患者さまに説明するよう努めます。

※診療の予約を取ろうとすると、その場で紹介状をFAXせよという方法ははっきり言って、悪い。思っている程、開業医はヒマではないし、すぐには書けない。

☆説明不足で申し訳ございません。診療科によって、予約時にFAXで紹介状をいただく場合もありますが、紹介状がなければ予約できないというものではありません。開業医の先生方のご都合に合わせて、患者さまが予約当日にお持ちいただければ結構です。

※FAXではなく、直接電話をして検査予約ができればよい。

☆ご案内不足で申し訳ございません。検査予約は、お電話いただければ日時をすぐ確認し予約することができます。患者情報は、後ほどFAXしていただければ結構です。

※放射線科の対応向上求む。責任感がない。口のきき方など。

☆申し訳ございません。改善するよう指導いたします。

☎地域医療連携室 (平日8:15~19:30)
052-652-5950 (TEL)
052-652-5716 (FAX)

室長：小林 建仁 (副院長)
佐野 隆久 (副院長)
事務担当：中村祐子・金井久実